

第 11 回杉並区立杉並第五小学校・若杉小学校統合協議会議事録（要旨）

会議名	第 11 回杉並区立杉並第五小学校・若杉小学校統合協議会
日 時	平成 18 年 12 月 21 日（木）午後 3 時～午後 4 時 50 分
場 所	若杉小学校 会議室
出席者	統合協議会委員 18 名（3 名欠席）
事務局	5 名（学校適正配置担当課長、学務課長、学校適正配置担当係長、学事係長、担当職員）
傍聴者	2 名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 統合新校の校名について</li> <li>2 今後の進め方について</li> <li>3 そ の 他</li> </ol>
資 料	<p>資料 1 統合新校校名案集計（応募者割合表示）</p> <p>参考資料 統合新校の校名検討資料</p> <p>参考資料 災害発生状況について（日本スポーツ振興センター）</p>
今回決定した事項	<p>統合新校の校名について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協議会において新たに推薦された校名案、また、応募作を基に推薦された校名案も検討対象とする。</li> <li>・ 前回の協議会において校名候補とした「天沼」を含めて、出席委員による投票を行った（一人 5 つまでの複数投票）。2 票以上獲得した校名案を候補の基本とし、次回、協議を行った後、再度投票を行う。</li> </ul>

<会長>

第 11 回杉並区立杉並第五小学校・若杉小学校統合協議会を開催いたします。

本日は傍聴の希望の方が 2 名いらっしゃいます。統合協議会設置要綱第 6 条第 3 項により、会議は原則公開となっておりますので、傍聴を許可し、議事を進めてまいります。

まず、前回質問のありました、災害発生状況について、事務局から説明を受けます。

#### **配布資料の説明**<事務局：学事係長>

[参考資料 災害発生状況について（日本スポーツ振興センター）]

- ・ 学校関係の負傷等の発生について、16、17 年度の件数をあらわした資料である。ちなみに、16 年度に保険の対象となった件数は 2091 件であった。

<委員>

登下校中の交通事故の件数はわかりませんか。交通事故と転んで怪我をしたのでは、事の性格が違うと思いますので。

<会長>

大分類の「学校外」の内「道路」の欄は、通学路上で起こったものと考えられます。44 名とありますから、おおよそ 1 校につき 1 名と読めるのではないのでしょうか。

<学事係長>

災害の内容について再度調査してみます。わかりましたら、改めて数字等をお出しいたします。

## **1 統合新校の校名について**

#### **配布資料の説明**<事務局：学校適正配置担当係長>

[資料 1 統合新校校名案集計（応募者割合表示）]

- ・ 応募のあった校名案を、第Ⅰ分類は地域名を含むもの、第Ⅱ分類は現在の校名若しくはその文字を含むもの、第Ⅲ分類は新しい名称であるものに分類し、その応募が児童からか、保護者や一般の方からの応募かを件数まで表記

した資料である。

- ・ 資料右側の円グラフは、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ分類の応募件数を割合で示した。
- ・ 一番上の円グラフは、全体での割合を示したもの。2番目の円グラフは、あえて「天沼」「あまぬま」がどれくらいの割合かを示したもの。
- ・ 3番目の円グラフは、前回の協議会において旧校名は検討の対象から除くこととしたため、ⅠとⅢ分類だけで割合を示したものである。
- ・ なお、12月18日の建設検討部会の際に同様の資料を配布したが、「杉並わかば」「杉並若葉」をⅠ分類にしていた。「わか」「若」という文字を含むため、「杉若葉」「若葉」と同じようにⅡ分類として集計した。

[参考資料 統合新校校名検討資料]

- ・ 応募作の理由と、正式名称した場合どのようになるか（「杉並区立〇〇小学校」）、また、前回「天沼」を推す意見が多かったため、応募作に「天沼」をつけたらどのようになるのか、感覚としてとらえていただくため事務局で作成した参考資料である。

※以後の発言は、「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」に統一した。

<会長>

統合新校の校名について、前回に引き続き協議を行いたいと思います。

確認ですが、応募数の多い少ないで決定されるものではありません。また、Ⅱに集約された現在の両校の校名を含んだものは除きます。

協議会では、一つに絞ること、若しくは2つ3つに絞ること、あるいは10に絞ることも考えられますが、これではまとめたことにはならないかもしれません。話し合いの中で、フレキシブルに考え、区にあげる候補を決めていきたいと思っています。

前回、「天沼小学校」は候補の一つとして確定しています。

応募されたもの以外の校名案や、絞り込みの方法論でも結構です。ご意見をお願いいたします。

<委員>

前回、「天沼」とは違う名前にするのであれば、新しい名前を考えてきましょう、という話になっていました。皆さん、それぞれ考えて来られたのではない

かと思しますので、まず、「天沼」とは違う名前をあげてはいかがでしょう。

<会長>

前回、「天沼」ではない名前をそれぞれ考えてみてきてくださいとお話しました。それぞれが温めて来られているのではないのでしょうか。これが、とお思いの方がいらっしゃいましたらお願いいたします。

<委員>

私は「天沼」がふさわしいとは思いますが、別の名前を考えてみました。

角川書店の新字源で探したところ、高橋尚子選手の「尚」と「志」で、「尚志(シヨウシ)」を見つけました。これは、「志を高くする」という意味で、もう一歩前へ、もう一つ上へという向上心を表わしていると理解しました。

「杉並区立尚志小学校」はいかがでしょう。

<委員>

前回の会議録を読み返しましたところ、「天沼」に新しい名前を付けてつけるという意見がありました。

しかし、私は、伝統ある「天沼」の下に、違うものを付けるのは変だと思いました。いかななものでしょうか。

「天沼」でないのなら、独立した名前の方がいいと思います。「尚志小学校」もよい名前だと思います。

それから、前回、他の委員から、Ⅱを除き、ⅠとⅢを対比させると多くの方が新しい名前を望んでいる、との意見を出されました。

しかし、Ⅱは両校の名前を引き継いだものの分類ですから、Ⅰと同じように伝統や歴史を重んじています。ⅠとⅡは伝統を重んじたもの、Ⅲは新しい名前をと、そのように対比して考えるべきではないでしょうか。

<委員>

そのようにも取れると思います。

<委員>

決め方についてですが、子どもたちから出されたものの中から絞るのもよい

のではないのでしょうか。子どもたちの応募の中からも、キラリと光るものがあると思います。

教育委員会に複数あげるのであれば、子どもたちが選んだものを一つのジャンルとして取り上げてみてはどうでしょうか。

<委員>

私は、名前に「天沼」を付けるかどうかは、その言葉によると思います。例えば、「荻窪北」に「天沼」を付けるのかはどうかと思います。また、「天沼」を付けてもよいかと思われる名前もあります。

それから、先ほど「若葉」をⅡに分類を移しましたが、「若葉」はそれ自体が独立した単語であり、若杉の「若」とは別ものだと思います。検討の候補に残しても良いのではないのでしょうか。

<会長>

委員から「尚志小学校」の推薦をいただきました。名前は協議会の話し合いで決めていきますので、「尚志」を加えて判断していきたいと思います。

まず、他の校名案に「天沼」を付けることについては、いかがでしょう。付ける付けないを先に決めるのではなく、言葉によってそれを加味することに異論はないかと思いますが。

<委員>

(「天沼」に) 下の句を付けることですが、結局、「若葉」や「さくら」はどこの学校にでも付けられるわけです。それでは意味がありません。古いかもしれませんが、格調が高く「天沼」でよいと思います。

それから、前回の協議会で、他の地域からこの学校に子どもたちが来てくれるような名前を、という意見がありました。私はそのような必要はないと思います。これからは、この地域の人がこの学校を支えていくということでよいのです。地域の子どもが来る学校、郷土・伝統を愛する名前を望みます。

<会長>

各委員からご意見をいただきましたが、検討の進め方としましては、「天沼」に別の校名案をつけることについては、規制しない方向でいきたいと思っています。

その他に、子どもたちが選んだものの中から候補を絞ってはどうか、という意見をいただきました。子どもたちの意見を尊重してということだと思います。

#### <委員>

前回の協議会が終わってからいろいろと考えましたが、新しい名前は浮かびませんでした。

そこで、消去法で考え、子どもたちが選んだものの中からピックアップしてみると、いいなと思う名前が残りました。

「杉の子」は、天沼を前につけても違和感がありません。「杉杉 (ササシ)」、「なかよし」はいかにも子どもが選んだという感じの名前です。「天沼なかよし」でもよいと思いました。

子どもたちのあげた中から一つ選びたいと思います。

#### <委員>

私は、校名を教育委員会の判断で決めることには反対です。協議会の場があるのですから、いくつかの候補をあげて、それで決めてもらうのではなく、この場で決めたいと思います。(統合新校の)関係者が集まっているのです。いくつかの候補の中からでは、この協議会での重みが区に伝わりません。

また、せっかく公募したのですから、その中から考えるべきです。その中に「天沼」を付けたものは出されていません。

それから、子どもたちの意見をといっても、子どもの名前はそもそも親である大人が名づけるものです。経験を積んだ人が議論して決めればよいことです。

#### <会長>

子どもたちの意見を一つのジャンルにしてはという意見について、私も特に区分をしなくてもよいと思います。

また、応募されたものに「天沼」を付けることについても、勝手につけない方がよいと思っています。

しかし、例えば、「天沼杉の子」という名前をこの協議会の場で委員が提案されることはよいと思います。

仮に、最終的に二つの意見が大きかった場合、それを教育委員会に委ねることもあり得ますし、一つに絞り込まれることも考えられます。議論を尽くして、

協議会として決めていきたいと思います。

<委員>

委員の総意であれば、この協議会の場で（応募されたものではない）新しい名前を候補にあげることも可能だと思います。

また、私は、子どもたちからあがった名前を候補の一つにしなければいけないと考える必要はないと思いますが、子どもたちの意見についても同じように検討すべきだと思います。最終的に協議して、絞り込んで残った名前が子どもたちからあがった名前になるかもしれませんが、それはわかりません。最終的に委員の総意で決まると思います。

協議会で検討したこと、その過程は会議録としてホームページ上で公開されていますので、子どもたちにも理解してもらえと思っています。

<委員>

私も、子どもたちの応募だけの枠をとることまでは必要ないと思います。

<会長>

子どもたちがあげた名前を別枠とするのではなく、検討した結果、候補のリストにあげるのであればよいということについて、よろしいですか。（了承）

また、「若葉」について、「若杉」を連想するのでⅡのジャンルに移しましたが、固有名詞であるから、Ⅲに戻してはどうかというご意見についてはいかがでしょうか。

<委員>

Ⅲの新しい名前としてよろしいのではないですか。

<会長>

では、「若葉」はⅡではなく、Ⅲとして、検討の対象としていくこととします。

さて、どのようにこれから絞り込むかですが、一つひとつ取り上げて論議するのは難しいと考えます。ご意見ありますでしょうか。

<委員>

やはり、「これは是非とも校名に」ということからでなければ、話をはじめられないと思います。皆さんがそれぞれお考えになっている「天沼」以外の名前をいくつかあげていただければいかがでしょうか。

私は、「天沼」以外の意見はありません。

<委員>

消去法にした場合、残ったものが優れているとは限りません。「天沼」に匹敵する名前を選ぶのですから、その名前をあげるのがよいと思います。

<会長>

名前をあげる方法ですが、一人ひとりに発言していただくこともできますし、紙に書いていただきそれを集計する方法があります。

<事務局>

校名候補投票のための用紙は用意してございます。

<会長>

では、投票用紙を配り、集計する方法を取ります。集計後、2票以上を獲得した名前は、それだけの重みがあると思われるので、2票以上のものから絞っていきたいと思います。

投票用紙を配ります。名前は5つまで書けることとします。「天沼」を推される方は書いてください。

— 投票及び集計のため午後4時まで休憩 —

委員 17 名に投票用紙を配り投票。事務局にて集計後、黒板に集計結果を以下のとおり記載

1 1 票	天沼	13 種類
5 票	尚志 (ショウシ)	
4 票	杉杉 (カサカサ)、天心館、若葉	
2 票	天沼さくら、天沼杉杉、天沼ひかり、天沼みらい 天沼わかば、天沼若葉、杉の子、悠 (ハルカ)	
1 票	あまぬま、天沼すぎの子、天沼絆、天沼ときめき、 さくら、杉寿 (カシゴ)、新天沼、新杉並、新緑、新星、 杉並天沼、杉並新世紀、大地、なかよし、明宝、友和、 陽和、わかば	

#### <会長>

たくさん名前があがりましたが、残念ながら 1 票しか投票のなかったものについては除き、2 票以上の 13 個の中から候補を絞ることとします。

「天沼」に多くの票が入りました。この投票に「天沼」を入れることで、どれだけの方が「天沼」を推されているか、それがどのくらいの位置にあるかがわかったのではないかと思います。

この投票結果を見て、ご意見がありましたらお願いいたします。

#### <委員>

この中で、現在、他の学校等で使われている名前がありますか。以前、参考資料にあったもので追加がありますか。

#### <学校適正配置担当係長>

以前、参考資料としてインターネットで校名案を検索し、該当するものがあったものをお出ししました。それ以後は、調べてはいませんので、追加の情報はありません。

#### <委員>

「天心館」は、応募理由を見ればその意味はわかりますが、音の聞こえが中華や宗教色を連想させるような感じがあります。

<委員>

私は、「天心館」は、天沼の人の心が集うところ、という意味でよいと思います。

この種の名前を付けることもいいと思いましたが、そのように言われると、確かに音の響きが気になります。

「杉杉（ササ）」も良いですが、どこかの学校の PTA 広報誌にその名前があります。「杉樹」とか、「杉寿」も杉並区内ではすでによく使われていますね。

また、このような読みはしないのではないのでしょうか。学校で教えますか。

<副会長>

学校では、「杉」を「サン」と読むようには教えていません。

<委員>

区内には、「杉杉」と書いて「サンサン」と読む団体の名前がたくさんあります。

<委員>

「杉の子」は、杉並第九小のバスケットチームと同じ名前です。隣の学校でするので、どうかと思います。

<委員>

「杉の子」は、以前いただいた参考資料を読むと、保育園などに多い名前です。前回も言いましたが、「杉の子」は少し幼稚な気がします。

<委員>

集計結果を見ていますと、ひらがなと漢字のものがあります。

“わかば”は、2票の「天沼わかば」、1票の「わかば」があり、合わせると数は多くなると思います。1票から出て、候補の対象に考えることもできます。

<委員>

「悠（ハユ）」は、親が子どもの名前につけることはありますが、学校の名前

としては読みづらいのではないですか。わかりやすい方がよいと思います。

<委員>

音の響きは大事だと思います。

<会長>

2票以上が13個。1票の中にも、2票以上と一部同じ名前もあるようです。では、これをどのように絞ったらよいでしょうか。

<委員>

13個の中で、再度投票してはいかがですか。今度は、「天沼」以外の名前からとして。「天沼」の対抗馬を決めるのですから。

<会長>

それでは、再度、投票のための準備をお願いします。

<委員>

投票用紙を用意している間に、もう一度、「尚志（ショウシ）」の意味を教えてくださいませんか。

<委員>

角川書店の新字源に、「志を高くする」とありました。

<委員>

これで投票をするとなると、もう名前が決まってしまう。決まって後から悩まないでしょうか。今日はここまでとし、持ち帰ってもう一度考えてはいかがでしょう。

<委員>

確かに、今日はここまでにして、今日の議事進行を振り返りながら、頭を冷静にして再度考えることもいいと思います。

<会長>

事務局から進め方について何かありますか。

<学校適正配置担当係長>

本日は、3名の委員が欠席されています。校名候補を決めるのであれば、できれば全委員の総意で決めた方がよろしいかと思います。

<会長>

では、皆さんによく考えていただき、次回投票するという事でよろしいでしょうか。

<委員>

欠席された委員に、投票用紙を送り、意見を募ってはいかがですか。

<副会長>

そうしますと、その方々が1票の名前を投票された場合、2票以上として取り上げることになります。はじめの主旨から外れてしまい、振り出しに戻ってしまうのではないのでしょうか。

<会長>

では、今日の投票結果は、事務局から欠席された委員へも郵送することとします。

もし、仮に、1票しか得票のなかったものであっても、それを推すという意見があれば、候補にすることとします。

次回の協議会までの間に、皆さんで十分考えていただき、次回投票を行うことといたします。

## 2 今後の進め方について

<学校適正配置担当係長>

次回の日程ですが、すでに決定しているものは次のとおりです。

第12回（建設検討部会） 1月22日（月）午後3時から、於杉並第五小

<会長>

では、次回の統合協議会の日程についてお諮りいたします。

—各委員日程確認—

<会長>

では、第13回統合協議会は、1月29日（月）午後3時から、若杉小にて開催いたします。内容は校名選定についてです。

### 3 その他

<会長>

この統合協議会と平行して、PTAの間で連絡会が開かれています。その経過について説明をお願いいたします。

<委員>

PTAでは、7月から4回に渡り連絡会を開き、意見交換を行ってきました。新校では、どのような形でPTAをスタートするのか、検討しています。「PTA連絡会だより」を発行し、全保護者に配布しています。

また、お配りしました「統合新校PTA連絡会タイムスケジュール」のとおり進めていく予定です。

<委員>

新しい学校としてPTAをつくることになるのですから、行事ありきではないように、皆さんでよく話し合っていくことがよいと思います。

<会長>

では、次に教職員連絡会の動きについて、私から報告いたします。

- ・ 英語教育では、イギリスのダーラムという都市の学校と若杉小、杉並第五小が交流をすることになりました。ダーラムの学校から教員が来日し、1月15日から1週間、子どもたちの英語活動を見ます。また、それ以降も学校間での作品交換なども行っていく考えです。

- ・ キャリア教育では、天沼中の生徒が職業体験を行いますので、その報告会を両校の6年生が天沼中に行き聞くことを予定しています。
- ・ 若杉小のこだま学級と杉並第五小児童との交流を3学期に予定しています。
- ・ 統合の時点で6年生となる杉並第五小の4年生が若杉小に来て、授業を受ける体験プログラムを行います。
- ・ 平成19年度に両校とも閉校することになりますので、「ファイナル委員会」の立上げを行う必要があります。
- ・ 両校の資料館に区の文化財係が調査に入っています。

#### <委員>

一つ、事務局にお尋ねしたいのですが、校名の次に校歌を決めなくてはなりません。校名より校歌の方が、時間がかかるのではありませんか。現在のスケジュールで間に合うのでしょうか。私は、校歌の前準備をした方がいいと思います。どこかにお願いするような、つてはあるのでしょうか。

#### <学校適正配置担当係長>

校名が決まった後、校章のデザイン、校歌、校旗などを決めていく予定です。校名は今年度中に決める予定でしたから、1月に決まれば、2ヶ月前倒しできることになります。

校歌の決め方ですが、新宿区教育委員会に以前聞いたところ、プロに依頼すると2ヶ月ぐらいでできあがるそうです。

しかし、作詞を募集したりする場合は、募集期間等に時間がかかりますので、4ヶ月ぐらいかかることも考えられます。

#### <委員>

現在の両校の作詞はとてもよいものです。それを素人が作詞をして、まとまるのか不安ですが。

#### <学校適正配置担当係長>

豊島区では、統合してから校歌を作り、そのお披露目は統合後の卒業式ということです。そのようなやり方もあるようです。

現在のスケジュールでは、校名が決まった後としていますので、校名が決ま

りましたら、次は校歌の準備に入りたいと思います。

<会長>

それでは、これで第 11 回統合協議会を終了いたします。お疲れ様でした。